

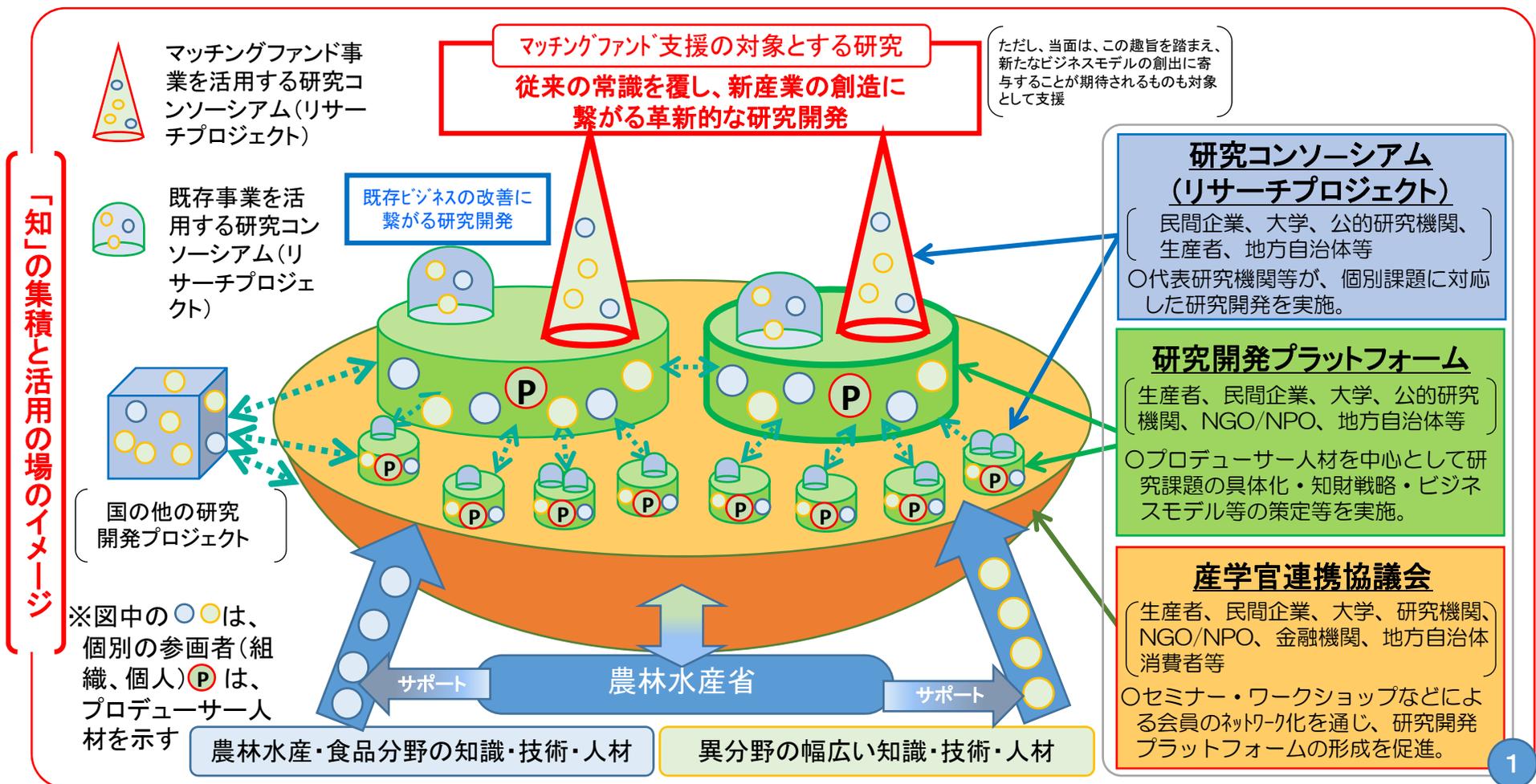
「『知』の集積と活用場による研究開発モデル事業」 (案)

平成28年4月21日
生物系特定産業技術研究支援センター

「知」の集積と活用場の全体イメージ

「知」の集積と活用場は、以下の3層構造で推進

- ① 「産学官連携協議会」：生産者、民間企業、大学・研究機関など多様な者が参画し、農林水産・食品分野と異分野の者がセミナーやワークショップ等を通じて交流を図り、研究開発プラットフォームの形成を促進
- ② 「研究開発プラットフォーム」：産学官連携協議会の会員が、一定のテーマのもとで新たな商品化・事業化に向けた共通の研究課題に取り組む
- ③ 「研究コンソーシアム（リサーチプロジェクト）」：研究開発プラットフォームの参画者が、研究開発プラットフォームの共通課題に対応した研究開発を実施



「知」の集積と活用の場づくりの流れ（イメージ）

①産学官連携協議会への入会

民間企業、大学、研究機関、生産者、金融機関等の多様な者が会員として入会。
（オープンな場）

<会員の募集>

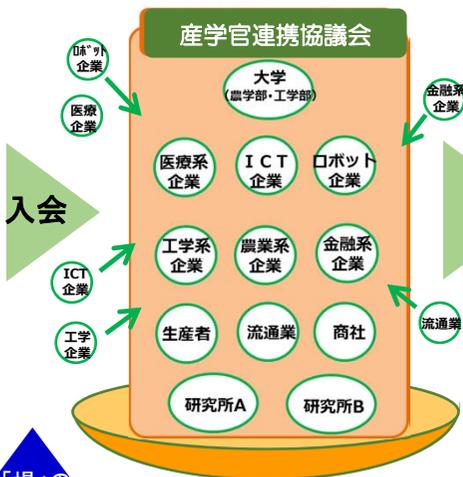
・随時受け付け
インターネットによる申込先
「<http://sto.affc.go.jp/cooperation/kyogikai>」



うまく活用できていない技術を活用できる場が見つかるかもしれない。



新規事業に取り組むためのパートナーが見つかるかもしれない。



「場」の
価値向上

②セミナー・ワークショップ等の開催

議論の整理・促進役（ファシリテーター）の関与の下、設定したテーマに応じたセミナー、ワークショップを開催・議論し、研究開発プラットフォームの形成を図る。

セミナー

テーマ例：次世代農業



会員となった民間企業や生産者等が出席

ワークショップで議論する上での参考となるよう、新たな技術やアイデア、現場課題等の紹介を行う。

希望者が参加

ワークショップ

品種改良技術はあります。

園芸作物の生産性を高めたい。

センサー等のICT技術が使えないか。

種苗メーカー

農業者

ICT企業

精密機械メーカー

資材メーカー

ファシリテーター

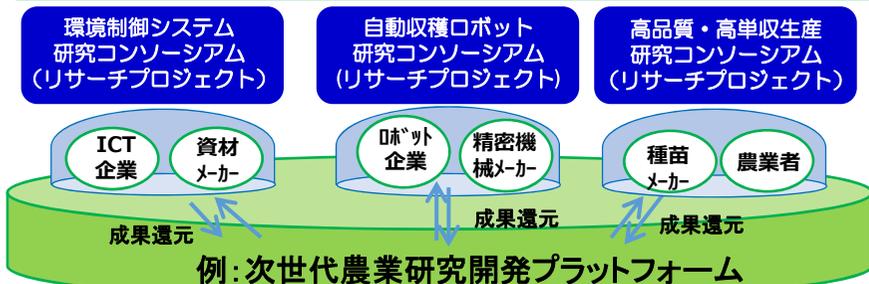
参加者の議論の内容や技術シーズ・ニーズを鑑みると、次世代農業として、高生産性・自動収穫園芸用ガラスハウスをICT技術等を用いてつくれそうだ。みんなで研究開発プラットフォームを結成しよう。

結成

④研究コンソーシアム（リサーチプロジェクト）での研究開発

研究開発プラットフォームで設定した共通研究課題に対応した研究開発を実施。成果は研究開発プラットフォームへ還元。

（クローズな場）

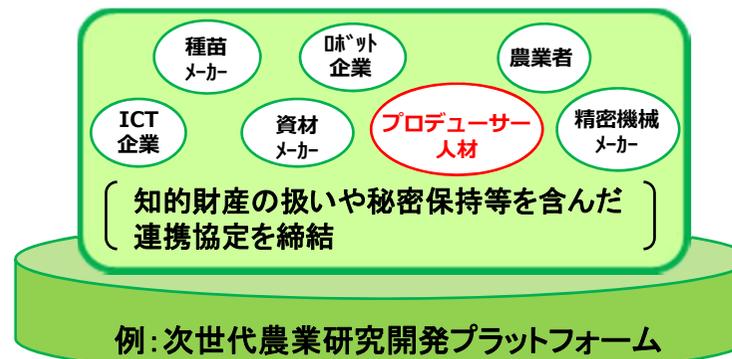


例：次世代農業研究開発プラットフォーム

高生産性・自動収穫農業施設を開発

③研究開発プラットフォームでの議論

プロデューサー人材（プロデュースチーム）が中心となって、ビジネスモデルの作成、知的財産の扱いや秘密保持等を含んだ連携協定の締結、共通の研究課題を設定。



例：次世代農業研究開発プラットフォーム

「『知』の集積と活用の場による研究開発モデル事業」のポイント

申請者

「『知』の集積と活用の場『産学官連携協議会』」に参画する者がセミナー、ワークショップ等を通じて特定の課題解決に取り組む仲間(研究開発プラットフォーム、国への届出・登録が必要)を構成し、研究開発プラットフォームのなかから商品化・事業化を推進する民間企業等が中心となり特定の革新的な研究開発を行う「**研究コンソーシアム(リサーチプロジェクト)**」(民間企業、大学、自治体、研究機関等により構成)を形成。

本事業ではこの「研究コンソーシアム(リサーチプロジェクト)」からの商品化・事業化の基盤となる革新的な研究開発に向けた研究計画提案を対象にマッチングファンド方式により公募。

応募することができる者(研究コンソーシアム(リサーチプロジェクト)の研究代表機関)は民間企業※であること。

※ 直近3期の決算報告において1期も債務超過がないこと、3期連続の経常損失を計上していないことを条件とします。

マッチングファンド

マッチングファンドでは生研支援センターから支援する**委託費の1/2以上の資金の負担**が必要(生研支援センター:企業側=2:1以上)

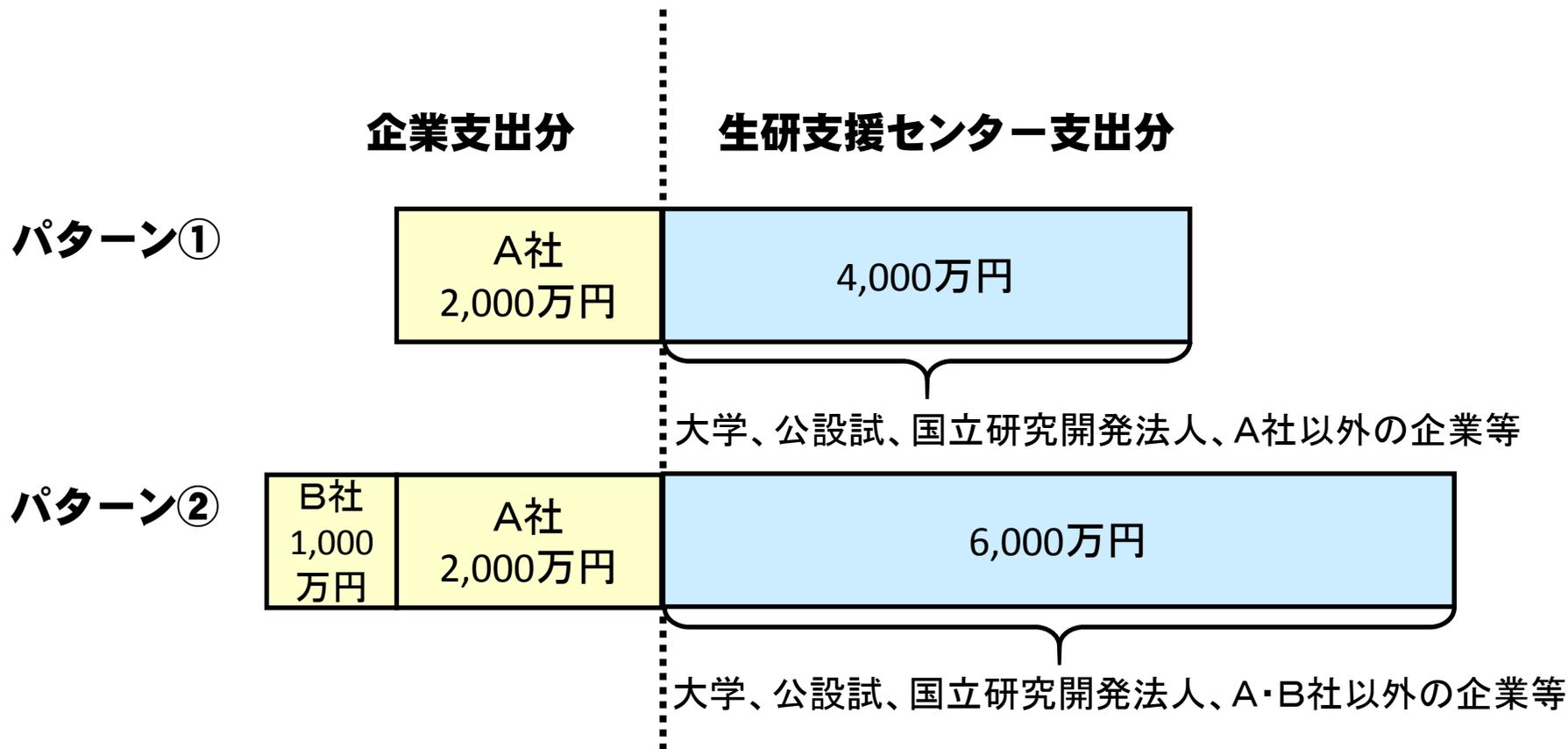
1 課題当たりの委託研究費

4千万円～3億円(企業側の負担:2千万円～1.5億円)

研究期間

5年以内

マッチングファンド形式のイメージ



委託研究費に計上できる経費、マッチングファンド自己負担分の対象

委託研究費に計上できる経費

- 1) 直接経費
 - ① 人件費
国、地方公共団体からの交付金等で手当てしている常勤職員の分は不可
 - ② 謝金
 - ③ 旅費
 - ④ 試験研究費
 - ・機械・備品費
 - ・消耗品費
 - ・印刷製本費
 - ・借料・損料
 - ・光熱水料
 - ・燃料費
 - ・会議費
 - ・賃金
 - ・雑役務費
 - ・上記に分類できないが試験研究上必要と生研支援センターが認めた経費
- 2) 一般管理費
- 3) 消費税等相当額

自己負担分の対象

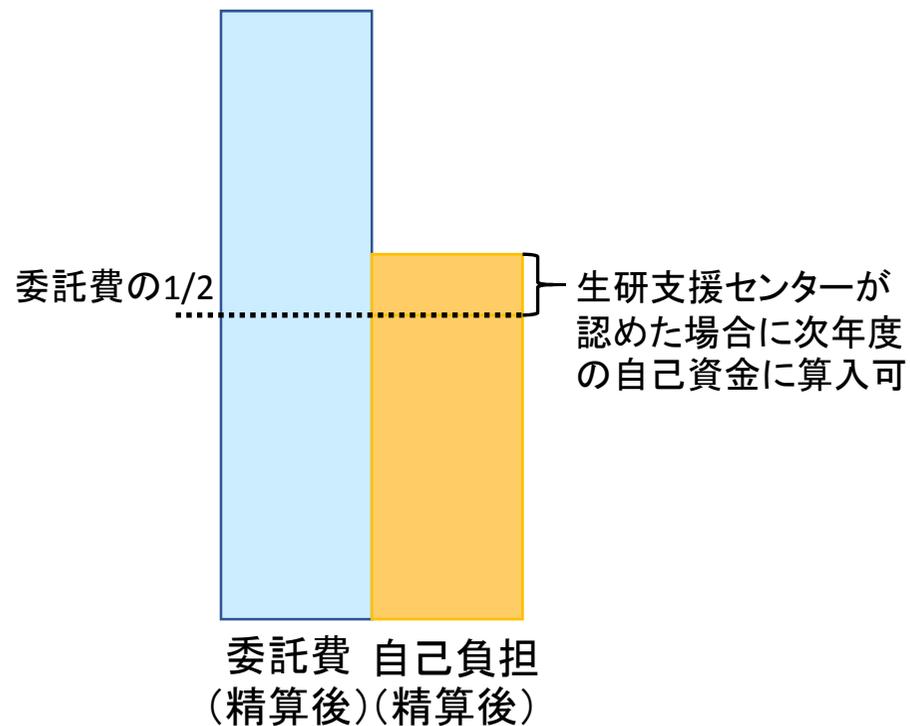
- 1) 左記1)①～④の経費
 - 2) 機械・備品の償却費
過去に自己資金で購入したことが証明できるもので、当該委託試験研究用として管理日誌等により利用実績が確認できること
 - 3) 委託研究契約締結前に保有していた試験研究用消耗品
(試薬・材料等のみとし、コピー用紙等の汎用品は対象外)
過去に自己資金で購入したことが証明できるもので、棚卸資産台帳により直近の在庫の確認ができるもの
- 2)及び3)の計上については、適切な資産及び資金管理ができるよう当該組織の中に**独立した資産管理部門**があることを条件とします。

予算の繰り越し等

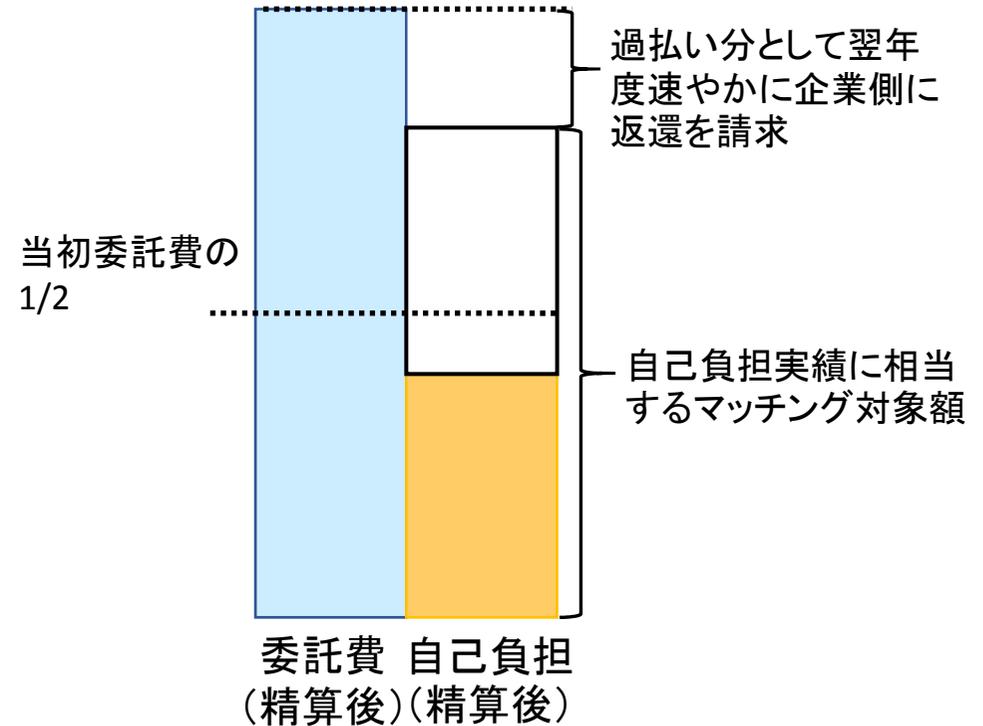
研究費の翌年度への繰越しは、原則認められません。

なお、年度毎の経費の精算時において、自己資金額がマッチング対象額を超過することとなった場合には、生研支援センターが認めた場合に限り、当該超過額を次年度の自己資金に含めることができます。

自己資金がマッチング対象額を超過した場合



自己資金がマッチング対象額に満たない場合



今後のスケジュール(予定)

平成28年6月	公募要領の公表・公示(公募開始) ブロック説明会(札幌、仙台、東京、大阪、福岡)
7月上旬	応募受付締切り 書類審査(必要に応じて)
7月中旬	面接審査
7月下旬	採択研究コンソーシアム(リサーチプロジェクト)等の決定・公表
8月下旬	研究計画検討会の開催
9月上旬～	委託契約締結

※スケジュールは、応募件数及び審査状況により変更になる可能性があります。

研究開発の成果の取扱いについて

本事業で得られた知的財産権などの**研究成果については、産業技術力強化法第19条（日本版バイ・ドール条項）を適用し、一定の条件の下で、委託先にすべてを帰属させることが出来る。**

研究開発の成果を速やかに商品化・事業化につなげていただくため、本事業では、**研究コンソーシアム(リサーチプロジェクト)内での研究成果の配分等について、あらかじめ方針（自己資金の拠出の割合や発明への寄与度によるなど）を定めた上で、研究開発を実施していただきます。**

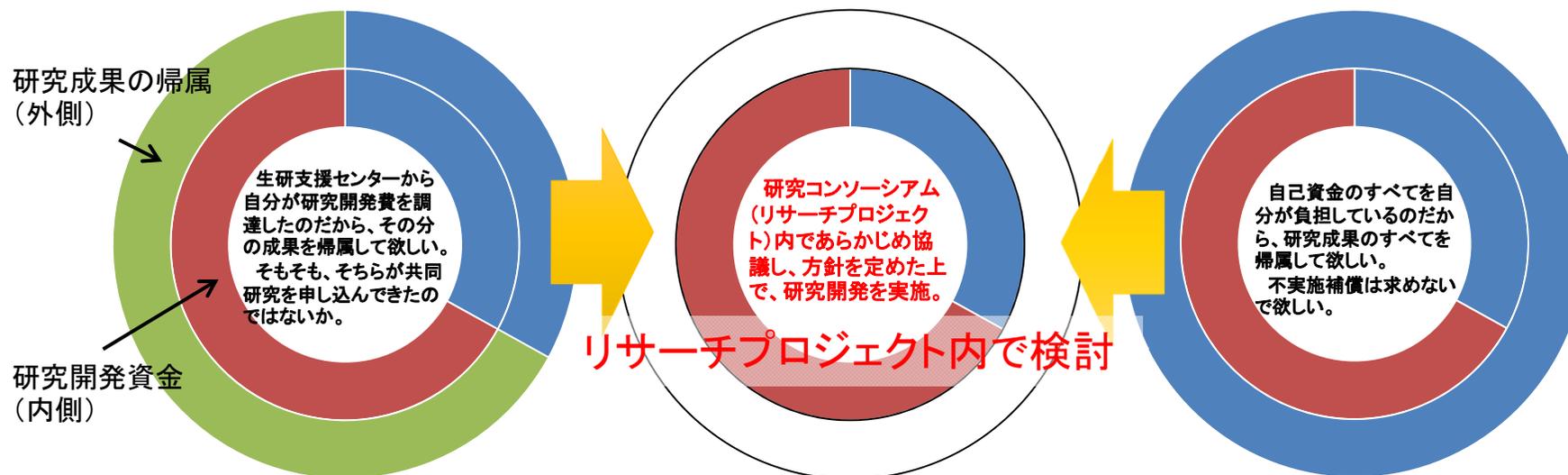
■ 生研支援センター ■ 民間企業等 ■ 大学等

民間企業等と大学等の研究コンソーシアム(リサーチプロジェクト)において、マッチングファンド方式による自己資金分をすべて民間企業等が負担した場合。

大学等側の一部の考え方

本事業での取扱い

民間企業等側の一部の考え方



研究成果の帰属	大学等2/3 : 民間企業等1/3	大学等○ : 民間企業等○ 事前に話し合い、発明への寄与度などに応じて、あらかじめ定める。	大学等0 : 民間企業等1
研究資金の負担	何れも、生研支援センター2/3 : 民間企業等1/3		

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募

応募はすべて、「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」で受け付けます。

郵送や直接の持ち込み、E-mail等では一切受け付けません。

○e-Radの使用にあたっては、事前に「研究機関の登録」、「研究者の登録」が必要となります。登録手続きに日数を要する場合がありますので、余裕をもって手続きを行って下さい。

○応募締切期限直前は、応募が殺到し、e-Radシステムがつながりにくなる可能性がありますので、余裕をもって、応募書類のe-Radへの応募登録を行って下さい。

◆情報提供サイト:e-Radポータルサイト(<http://www.e-rad.go.jp/>)

◆e-Radの操作方法に関する問い合わせ先:

e-Radヘルプデスク

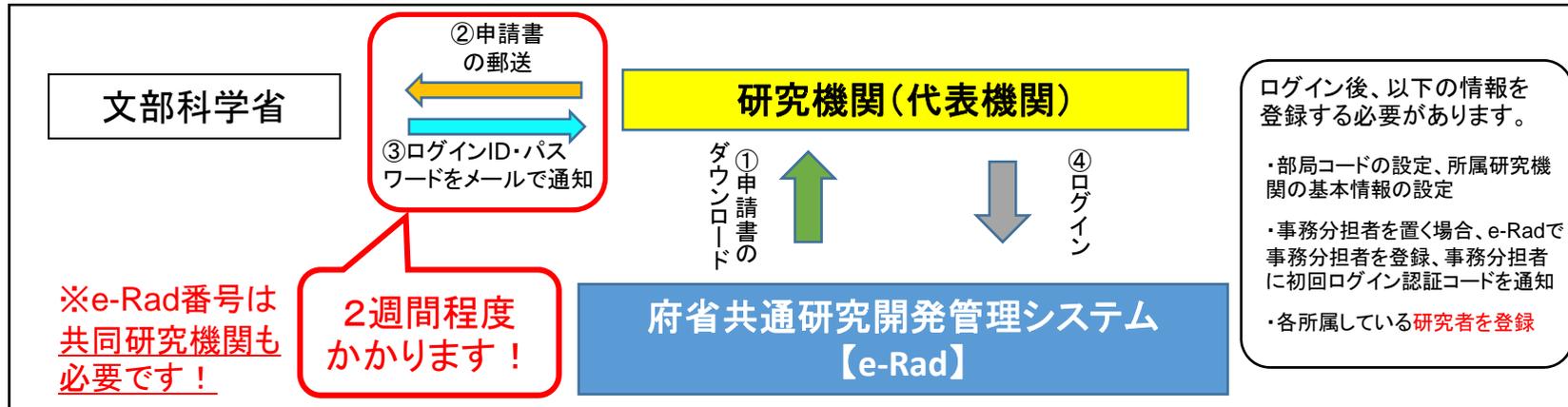
TEL 0120-066-877(フリーダイヤル) 03-3455-8920(直通)

受付時間 09:00~18:00

※土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)を除く

e-Radによる応募の流れ

○研究機関の登録申請手続き(応募までの事前準備)



○提案書の応募手続き



お問い合わせ先

農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター
新技術開発部 産業技術開発課

☎ 048-669-9180

問合せ用メールアドレス: chi-shuseki@ml.affrc.go.jp

※ 今後、本事業に関する情報を以下のHPに掲載します。
情報は順次更新しますので、こちらもお覧ください。
<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/shien/index.html>